

非正規就業選択の背景：婚姻履歴と就業意識*

兵庫県立大学 横山由紀子

1. はじめに

2008年、世界同時不況の影響で日本経済は大きな打撃を受け、その影響は雇用環境にも大きく波及した。その結果、近年増加し続けていた非正規従業員はこれまでにない厳しい状況に置かれるようになり、その雇用の不安定性がメディア等で頻りに議論されるようになった。本稿で使用するデータは、2008年9月に兵庫県下で実施された『働き方の多様化と生活意識に関するアンケート』調査であり、世界同時不況による深刻な影響はまだ反映されていない。その後、非正規従業員の活用状況や非正規従業員の雇用に対する意識が大きく変化したであろうことは想像に難くないが、従来の平常的な状況における非正規雇用についての情報はむしろ世界的不況を経験する以前でしか入手できない。本稿では、世界同時不況直前のデータを用いることで、非正規雇用者は「就業の多様化」として非正規就業を前向きに捉えてきたのかどうかという視点から分析を行う。特に、(1) 若年層の非正規雇用者は今の雇用形態に満足しているのか、(2) 未婚者や離婚者が急増するなか、就業行動・意識は配偶関係によってどのように異なるのか。(3) 近年、母子家庭が増加しているが、子どもを持つ母親の就業行動・就業意識は配偶者の有無によってどう異なるのか、の3点に注目したい。近年の非正規労働の担い手は女性・高齢者・若年男性といわれているが(図1)、年齢が若いほど¹現在の就業形態(非正規就業)を続けたいと考える人が少ないことから、若年層ほど非正規就業という雇用形態に対して不満を感じている人が多いことがうかがえる(図2)。

若年期の非正規就業の問題は、人的資本形成や家族形成の側面から捉えられることが多く、例えば、永瀬(2004)は若年非正規雇用者は企業内訓練だけでなく、雇用保険を通じた公的訓練機会からも除外されていると指摘している。また、非正規就業化が結婚を抑制することが酒井・樋口(2005)、永瀬(2002)等で指摘されている。

非正規従業員の満足度に関しては、篠崎他(2003)は、パート労働者が正社員との賃金格差に納得しない理由について、賃金格差の大きさだけでなく、職務上の責任度や勤務時間の自由度などが正社員と変わらない場合に格差への納得度が著しく低下することを示す。また、島貫(2007)は、パートの基幹化を進めつつも賃金満足度を高めるためには、評価

* データの提供を受けた(財)兵庫勤労福祉センターに深く感謝する。

¹ ただし、15-19歳を除く。

や処遇上の公平性、キャリア管理上の公正性の観点から人事管理のあり方を検討することが必要だと結論づける。一方、奥西（2008）は、過去のアンケート調査結果で、非正規従業員の仕事満足度が正規従業員と比べて必ずしも劣っているわけではないことから、両者の比較を単に賃金格差あるいはその納得度という観点だけでなく、雇用安定、労働時間、能力開発など、より広い視点から考察する必要性を説く。独自のインターネット調査の個票を用いて分析した結果、正社員と非正社員では仕事やそれに関連する側面に対する評価基準は基本的には共通しているが、両者の大きな違いは、年収額と賃金満足度の関係にあると指摘する。特にパートタイマーの場合には、年収額と賃金満足度はほとんど無関係であり、パートタイマーの家計補助的な性格をその原因としている。

また、女性の仕事に関する満足度について、奥津（2009）は主婦の再就職に焦点を当て、はじめての再就職でパートタイマーだったことはキャリア満足度には関係がなく、結婚・育児後の再就職者は雇用形態による雇用の安定性や賃金水準とは別の条件を重視していると指摘する。すなわち、母子関係の在り方に重要な要因となる労働時間・通勤時間の長さ、職場への拘束性の低さがより重要だという。

さらに、女性のパート労働に関する研究はすでに数多く蓄積されているものの離死別経験者の就業行動および就業意識にまで着目したものはまだ稀である。厚生労働省「全国母子世帯等調査（平成18年）」によると、母子世帯の母のうち84.5%が就業しており、そのうち約半数は非正規雇用者である。濱本（2005）は、母子世帯となる以前から常勤で勤務していた場合には貧困率は低いものの、パートを継続した人が貧困から脱却することが難しい現状を明らかにしている。

しかし、非正規就業から正規就業への移行は必ずしも容易ではない。玄田（2008）は総務省統計局『就業構造基本調査』（2002）を用いて分析した結果、家事等のバランスや年齢を理由とした労働供給上の制約が、正社員への移行を抑制していると示している。一方、武石（2006）は、女性パート社員に関し、基幹労働力化しているパート社員や、所定労働時間や残業・休日出勤が正社員並みである場合には「フルタイム正社員になりたい」と回答する確率が高くなることを示している。

どのような非正規雇用者が今の雇用形態に満足しているのだろうか。満足していないのはどのような人なのだろうか。本稿では、非正規就業選択の背景を探り、フルタイム正規従業員への転職希望者の特徴を明らかにすることで、非正規という雇用形態がどの程度労働者の希望に沿ったものであるのかを検証する。

本稿の構成は以下のとおりである。まず、第2節で使用データを説明し、第3節で男性非正規雇用の状況およびフルタイム正規従業員への転職希望状況を分析する。第4節では、女性について同様の分析を行い、第5節はまとめである。

2. データ

使用データは、兵庫県の委託を受けた勤労者意識調査事業の下で（財）兵庫勤労福祉センターが2008年8月1日から9月17日にかけて実施した『働き方の多様化と生活意識に関するアンケート』調査の個票である²。この調査の対象者は勤務先が兵庫県内に位置する労働者であり、連合兵庫における産業別労働組合を通じて配布し、郵送によって回収した。そのため、連合兵庫に属する労働組合がある職場で勤務する労働者を対象とすることになる。調査は正規従業員・非正規従業員³それぞれに対して行われた。正規従業員調査の配布数は5,280人、回答数2,152人、有効回収率40.8%、非正規従業員調査の配布数は4,817人、回収数1,309人、有効回収率27.2%である。また、同時期（2008年9月12日から9月17日）にWebによるオンライン調査⁴も実施し、20歳から59歳の非正規従業員を対象に、IPSOS（日本統計調査）提携webパネルの勤務地、居住地、各年齢層の割合を考慮した上でランダムに抽出する方法をとり、768人に配布し、386人から回答を得た（有効回収率50.3%）。本稿の分析では正規従業員データは使用せず、web調査を含めた非正規従業員データのみを使用する。

3. 男性の非正規就業選択の背景

3.1. 男性非正規雇用者データの特徴

表1は、年齢および婚姻状態に欠損値がない60歳未満の男性非正規雇用者に限定して、その特徴をまとめたものである。年齢および婚姻状態以外には欠損値を含み、不明の数をも含めた人数に対する割合を示している。例えば、雇用形態については表記以外にも「その他」「不明」があるため、表中の数字を足し合わせても1とはならない。

まず、雇用形態⁵については、全体の7割以上を派遣社員と契約社員が占めており、両者の数は同数となっている。年齢別でみると、50歳未満の比較的若い世代では派遣・契約社員が多いが、50歳代で急にパート労働者の割合が増加している（31.3%）。また、有配偶者よりも無配偶者の方がパート労働者の割合が高い傾向にある。

職種については、技能・生産職が最も高い割合（35.3%）を占め、特に若い人でその割

² データの詳細については、（財）兵庫勤労福祉センター（2008、2009）を参照。

³ ただし、学生アルバイトは除く。web調査についても同様である。

⁴ web調査は、科学研究費補助金基盤研究C（課題番号20530224）および若手研究（B）（課題番号19730181）の助成を受けている。

⁵ 雇用形態には5つの選択肢があり、（1）派遣社員・職員：労働者派遣法に基づく派遣元事業所から派遣された者、（2）契約社員・職員：特定職種に従事し、専門的能力の発揮を目的として雇用期間を定めて契約している者、（3）パート・アルバイト：一週間の所定労働時間が正規従業員より短い者、パートタイマー等の名称で呼ばれる者、（4）臨時・日雇い社員・職員：臨時的に日々雇用されている者で、一か月以内の雇用期間の定めのある者、（5）その他、から選択している。

合は高い（30歳未満で41.5%）。また、専門・技術職は無配偶者よりも有配偶者でその割合がやや高い傾向にある。学歴に関しては、約半数弱は高卒者が占めるが、大学以上の高学歴者も34.0%含んでいる。

非正規雇用者の中には早期退職・再就職の男性も含まれている。前節で述べたとおり、高齢者や早期退職者による非正規就業は若年者の非正規就業とはその意味合いが大きく異なることに注意しながら分析を行う必要がある。前職が正社員であった人は年齢が上がるほど多くなる傾向にあり、30歳未満では25.4%であるのに対し、50歳代では6割を超す（62.5%）。また、ローン支払い済みの持ち家に居住する人が50歳以上では33.3%とやや高くなっていることも早期退職・再就職と関係していると考えられる。住宅ローンの契約には安定した雇用を前提とすることが多いため、正社員であったときに住宅ローン契約を結び、その後、非正規雇用者となった可能性がある。

家族構成で特徴的であるのは、40歳未満の無配偶者では95%以上の人に結婚経験がないのに対し、40歳以上の無配偶者では36.5%に結婚経験がある点である。また、有配偶者については、40歳未満の場合、中学生以下の子供がいる人は6割（65.2%）を超し、妻が無職の状態にある人も約半数（46.4%）を占めており、扶養家族を抱えている人も多いことがわかる。

表2は非正規従業員として働いている理由（複数回答）を示している。最も多い理由は「正規従業員になれなかったから（36.0%）」であり、特に、無配偶40歳以上では約半数（51.9%）に上る。また、無配偶30歳未満では「正規従業員の職が見つかるまでのつなぎとして」が多い（30.2%）。

雇用形態別にみると、派遣社員・契約社員ともに「正規従業員になれなかったから」が約4割を占める。また、「正規従業員の職が見つかるまでのつなぎとして」はパートと派遣社員に多い。パート労働者では、「希望の労働日数・時間で働くことができるから」の回答も3割（32.9%）を超し、また、「組織に縛られないから」も25.7%となっており、自由度を重視した意見も見受けられる。

なお、「勤務時間が短いから」との回答は全体で1割にもならず、実際、84.4%の人が週35時間以上就業している。特に、派遣社員や契約社員では週35時間以上勤務している人が9割を超すが（派遣社員95.2%、契約社員91.8%）、パート労働者に関しては約半数（48.0%）にとどまる。

3.2. 男性非正規雇用者は今の雇用形態に満足しているのか

男性非正規雇用者は、非正規という現在の雇用形態に満足しているのだろうか。アンケート調査では「非正規従業員として働きたいですか、それとも変わりたいですか」という質問がある。表3はその回答をまとめたものである。

「フルタイムの非正規従業員に変わりたい」という希望は若い世代ほど多く、30歳未満

では約 8 割 (78.9%) にのぼる。逆に、非正規従業員として働き続けたいという人は年齢が上がるほど増え、特に 50 歳代では 3 割 (33.3%) を超す。

配偶状態別でみると、40 歳未満の有配偶者では 84.1% の人がフルタイムの正規職を希望しており、次に、無配偶 30 歳未満 (78.6%) が続く。また、「独立・起業したい」という意見は、有配偶者ではほとんど見られないのに対し、無配偶者では 30 歳代で 13.5%、40 歳以上では 21.2% となっている。さらに、雇用形態別でみると、フルタイム正規従業員の職を希望する割合は、契約社員 (80.3%)、派遣社員 (73.0%) で高く、パートでは 41.4% と半分以下となる。

非正規従業員から正規従業員 (短時間含む) に変わりたいと回答した人の転職希望理由を示したのが表 4 である。正規従業員 (短時間含む) の職を希望している人の希望理由で最も多いのは「雇用が不安定だから」65.6% である。次に「もっと収入が必要だから」62.9% が続くが、年齢が上がるにつれ高い回答割合となっている。また、「能力向上が賃金上昇に結びついていないから」36.4% が 3 番目に多い選択肢となっており、転職希望者のうち、勤続年数の長い男性ほどこの理由を挙げる人が多い (表 5)。

3.3 正規就業への転職希望：プロビット分析

どのような男性がフルタイムの正規従業員に変わりたいと回答しているのだろうか。フルタイムの正規従業員に変わりたいと回答した人を 1、それ以外の場合に 0 をとるダミー変数を被説明変数に用いて、プロビット・モデルによる分析を行う。説明変数には、年齢、学歴、婚姻履歴 (有配偶者、未婚者、離死別経験のある無配偶者)、職種 (専門・技術職、技能・生産職、それ以外)、居住形態 (住宅ローンの有無別の持ち家、親・親族の家、その他)、正規従業員からの転職者ダミー、web 調査回答者ダミーを用いる。年齢が若いほど将来のことを心配し、学歴が高いほど仕事への意欲が高く、また、有配偶者ほど扶養すべき家族がいると考えれば、こうした人々ほど正規従業員の職を希望すると予想される。また、住宅ローンがある場合には返済の必要性から正規就業を希望し、住宅ローンがない持ち家の場合には正規就業への希望は少なくなると考えられる。ただ、住宅ローンを組むためには今まで正社員であった可能性が高いため、正規就業からの転職者ダミーとの関係に注意する必要がある。労働組合がある企業は他の企業より待遇が良いと考えれば、web 調査ダミーは正の値をとると予想されるが、一方で、調査会社のモニターとなっている人々の特性によっては負の値もとる。また、上記以外の説明変数として、週 35 時間以上勤務している場合に 1 をとるダミー変数も使用する。ただ、正規従業員なみに週 35 時間以上勤務しているので正規従業員に変わりたい、というケースも考えられるものの、正規従業員になりたいが職がないので週 35 時間以上就業している、という同時決定の可能性もあるので注意を要する。

推定結果は表 6 に示してある。予想どおり、若い世代ほどフルタイム正規従業員の職を

希望する人が多く、また、既婚者は未婚者に比べて15-19%ほどその確率が高い。専門・技術職は、待遇がいいのか、フルタイム正規就業の希望確率がその他の職種に比べて2割程度低下する。web調査回答者ダミーはいずれの推定式においても負の効果を示しており、これはモニター登録者の特性によるものと考えられる。

推定式によって異なる効果を有する変数もある。まず、前職正社員ダミーは50歳代の人を含むサンプル全体で推定した場合のみ有意な効果をもち、かつ、サンプル全体であっても週35時間以上就業ダミーを加えた場合には効果は有意ではなくなる。これは、50歳代の人々が早期退職や再就職の際に正規従業員の職を得られなかったケースの効果を示していると考えられる。また、学歴についてはサンプル全体で推定した場合には大学卒以上の高学歴の場合に正の効果(10%水準)を示すものの、50歳代の人をサンプルから除くと有意な効果はなくなる。

興味深いのは居住形態の効果である。サンプルを50歳未満に限定した場合および40歳未満に限定した場合のいずれにおいても、予想に反して、住宅ローンのない持ち家の男性で、フルタイム正規従業員への希望が高まる点である(50歳未満に限定した場合には有意水準5%、40歳未満の場合には有意水準10%)。これらいずれの推定式においても、前職正規従業員ダミーは有意ではない。相続による持ち家の可能性もあるものの、比較的若い段階で住宅ローンを完済しているのだとすれば今まで恵まれた待遇のもと仕事をしていた可能性もあり、その場合にフルタイム正規従業員の職を希望する傾向があるのかもしれない。

4. 女性の非正規就業選択の背景

4.1. 女性非正規雇用者データの特徴

表7は、男性のデータと同様に年齢および婚姻状態に欠損値がない60歳以下の女性にサンプルを限定して、その特徴をまとめたものである。

まず、配偶者の有無にかかわらず、子どもいる場合にはパート、子どもがいない場合には派遣の占める割合が最も高いことがわかる。また、50歳代で臨時・日雇い社員が多くなっている。

最も多い職種は事務職(35.6%)で、特に40歳未満の若い世代でその割合は高い。続く営業・販売職(15.8%)は年齢が上がるにつれ増加し、50歳以上では4人に1人は営業販売職に就いていることになる。

週35時間以上勤務している人は有配偶者よりも無配偶者で多く、また、若い世代ほどその割合が高い。特に30歳未満の無配偶者の約8割以上(83.1%)が週35時間以上就業している。また、男性同様に早期退職・再就職の影響なのか、前職が正社員だった人は無配偶者の50歳以上で最も多い(39.3%)。

学歴に関しては、約半数(47.3%)は高卒者が占めるが、年齢が若いほど高学歴者が多

くなる。web 調査への回答者がもっとも多いのは 40 歳未満の若い有配偶者で 45.0%を占めている。

家族構成および居住形態については、無配偶者で年齢が上がるほど結婚経験者の割合が上がり、40 歳代で約半数 (47.3%)、50 歳代では 75.4%の人に離死別経験があることになる。30 歳未満の無配偶者の大多数は (98.5%) は未婚者で、約半数 (45.6%) の人は親・親族の家に住んでいる。一方、有配偶者では年齢が上がるほど持家 (ローン支払い中含む) の割合が増え、50 歳以上では約 9 割 (87.7%) に達する。40 歳未満の若い世代では夫が正社員である人が 8 割を超すが、年齢が上がるにつれその割合は低くなる。

次に、子どもの有無による差異に注目したい。子どもの有無⁶によって就業状態に大きな違いがあるが、その原因の一部は平均年齢の差であると考えられる。50 歳未満に限定した場合、同居する子どもがいる女性の平均年齢は有配偶者 41.7 歳、無配偶者 40.9 歳と両者とも 40 歳を超えているのに対し、子どものいない女性の平均年齢は有配偶者 35.4 歳、無配偶者 32.2 歳と、同居する子どもがいる女性よりもかなり若い。同居する子どもがいる女性を配偶者の有無で比較すると、もっとも大きな違いは持ち家の割合が有配偶者で高く (80.0%)、その中でもとくに住宅ローン支払い中の比率が高いことである (有配偶者 64.2%、無配偶者 15.4%)。雇用形態に関しては、配偶者の有無にかかわらず子供がいない人では派遣社員が最も多い (有配偶 42.7%、無配偶 47.5%) が、無配偶者では子どもがいる人についても派遣社員が占める割合はやや高い (有配偶 13.3%、無配偶 33.8%)。また、子どもがいる人に注目すると、長時間働く人の割合は無配偶の方が高く、無配偶者の 60.0% は週 35 時間以上勤務している (有配偶 35.5%)。週労働時間数の平均値でも、有配偶者が 26.9 時間であるのに対し、無配偶者では 32.8 時間と長くなっている。これに関しては、一見、子どもがいる有配偶者の約 2 割に未就学の子供がいることと関係しているようにも見えるが (無配偶者 6.2%)、実際には未就学児の母親で労働時間の長い人が特別少ないわけではなく (表 8)、有配偶者で未就学児が多いことが週あたり労働時間が短い理由というわけではない。むしろ、有配偶の場合には末子が小学校低学年の場合に労働時間が短いことが特徴的である。

表 9 は、非正規従業員として働いている理由 (複数回答) を示したものである。サンプル全体では、「通勤容易 (29.1%)」「勤務時間短い (28.4%)」「希望の勤務時間 (28.1%)」「正社員になれなかった (27.7%)」がそれぞれ 3 割弱となっているが、詳しく見れば、年齢や家族構成で大きく差があることがわかる。「正社員になれなかった」という回答は無配偶者で多く、特に 30~40 歳代では半数近い人々が回答している (30 歳代 44.4%、40 歳代 46.2%)。30 歳未満ではその回答はやや減少するが、「正社員になるまでのつなぎ」(25.7%) とする回答がやや多くなり、男性同様、30 歳未満では一時的な仕事として選択している人

⁶ 本稿では婚姻履歴に焦点を当て、離死別経験者もサンプルに多く含まれることから、以下で扱う「子ども」とは同居している場合に限定している。また、無配偶者における「末子中学生以下」に該当するサンプルが少ないため、「母親が 50 歳未満でかつ同居する子どもがいる」ケースを分析する機会が多いが、この場合には末子年齢は中学生以下とは限らないことに注意されたい。

も見受けられる。「希望の勤務時間」「勤務時間短い」を選択した人は有配偶者で多く、特に子どものいる 50 歳未満の有配偶者が多い（それぞれ 41.8%、39.7%）。母子家庭についても子どもと同居する 50 歳未満の母親の場合には「希望の勤務時間」を回答する人の割合は 33.8%、（サンプルサイズが 38 と小さいので注意すべきであるが）15 歳以下の子どもと同居している母親の場合には 42.1%と、有配偶者のように高い割合で回答している一方で、「勤務時間短い」を選択する人は少なく（20.0%、15 歳以下の子どもと同居している場合には 15.8%）、母子家庭の場合には長時間働かなければならない現実が示唆される。

それぞれの雇用形態の捉え方も配偶関係によって大きく異なる。特に、パートで働く理由について、有配偶者では「勤務時間短い（53.3%）」「希望の勤務時間（52.0%）」「通勤容易（39.9%）」の順となり「正社員になれなかったから」は 14.6%であるのに対し、無配偶者では「通勤容易（37.4%）」「正社員になれなかったから（33.3%）」の順となっており、勤務時間の短さを回答しているのは 2 割（21.1%）にすぎない。実際の勤務時間を確認すると、無配偶者の方が長時間勤務している人の割合が高く、たとえパート労働者であっても半数以上（53.7%）が週 35 時間以上就業しており、週 40 時間以上働いている人も 2 割以上いる（22.8%、有配偶では 9%）。週労働時間数も有配偶者では 24.4 時間に対し、無配偶者では 31.0 時間と長くなっている。つまり、有配偶の場合には勤務時間の融通が付きやすいという理由からパートという雇用形態に満足している人も多いが、無配偶者場合にはパートの選択は不本意である場合が多いといえる。なお、「正社員になれなかったから」という回答は無配偶の契約社員で最も多く、半数以上を占める（52.7%）。

4.2. 女性非正規労働者は今の就業形態に満足しているのか

女性非正規雇用者は、非正規従業員という現在の雇用形態に満足しているのだろうか。表 10 は、今後の希望について示したものである。「フルタイムの非正規従業員に変わりたい」という希望は全体で 37.6%で、50 歳以上でその割合は下がる傾向にある。50 歳未満の無配偶者では 5～6 割の人がフルタイム正規従業員への転職を希望しているが⁷、有配偶者ではむしろ「このまま非正規」を希望する人の方が多い（約 4 割）。また、有配偶・無配偶とも、フルタイム正規従業員への転職希望は子どもがいる人に比べて子どもがいない人の方が約 10%程度多い。

雇用形態別では、派遣社員でフルタイム正規従業員への転職希望が多く、有配偶者で 47.8%、無配偶者で 63.9%である。契約社員でのフルタイム正規従業員への転職希望者は無配偶者では 6 割近いものの有配偶者では約 3 割（33.3%）で、むしろ「非正規従業員として働きたい」と回答した人の方が多い（37.0%）。また、「非正規従業員として働きたい」という回答が最も多いのはパート労働者である（有配偶者 53.9%、無配偶者 30.1%）。つまり、現在の雇用形態に不満を持っている人が最も多いのは派遣社員で、満足している

⁷ 短時間正社員への希望を含めると、50 歳未満の無配偶女性の 6 割以上が正規従業員の職を希望していることになる。

人が多いのはパート労働者であるといえる。しかし、無配偶者では非正規就業を不本意とする人が多く、パートを含むすべての雇用形態で「フルタイム正規従業員になりたい」と考えている人が最も多いのが現状である。

表 11 は正規従業員（短時間含む）の職を希望している人の転職希望理由を示している。最も多いのは「もっと収入が必要だから」（62.7%）である。特に 50 歳未満の結婚経験のある無配偶者では 80.0%と高い割合を示している。転職希望理由として次に多いのは、「雇用が不安定だから」（60.4%）で、特に 30 歳以上の無配偶者では 7 割以上が回答している。50 歳未満に限定すると、未婚者で特に高くなっている（72.5%）。つまり、未婚者では雇用の安定性、結婚経験のある無配偶者ではよりよい収入を必要として正規従業員への転職を希望しているといえる。さらに、3 番目に多い理由は「能力向上が賃金上昇に結びついていないから」（30.4%）であり、特に、勤続年数が 3-10 年未満の女性でこの選択肢を挙げる人が多くなっている（表 12）。

4.3 正規就業への転職希望：プロビット分析

非正規雇用者のうち、どのような女性がフルタイム正規従業員への転職を希望しているのかを調べるため、プロビット分析を行った。前節の男性に関する分析同様、被説明変数には、フルタイム正規従業員への転職を希望している場合に 1、それ以外の場合には 0 をとるダミー変数を用いる。

説明変数には、年齢、学歴、婚姻履歴（有配偶者、未婚者、結婚経験のある無配偶者）、職種（事務職、営業・販売職、技能・生産職、それ以外）、居住形態（住宅ローンの有無別の持ち家、親・親族の家、その他）、正規従業員からの転職者ダミー、web 調査回答者ダミーを用いる。年齢が若く、学歴が高いほど、また、女性の場合には収入の稼ぎ手となってくれる夫がいない無配偶者ほど正規従業員を希望すると予想される。また、住宅ローンがある場合には正規就業を希望し、住宅ローンがない持ち家の場合には正規就業への希望は少なくなると予想される。web 調査回答者ダミーについては労働組合がある企業が他の企業に比べて待遇が良いと考えれば web 調査ダミーが正の値をとると予想されるが、一方で、調査会社のモニターとなっている人々の特性によっては負の値もとらう。また、上記以外の説明変数として、男性同様、週 35 時間以上勤務している場合に 1 をとるダミー変数も使用する。ただ、正規従業員になりたいが職がないので週 35 時間以上就業している、という同時決定の可能性もあるので注意が必要である。

また、女性の場合には子供の有無や末子の年齢の影響を強く受けると予想される。さらに、こうした影響が配偶者の有無によってどう異なるのかを明らかにする必要があるので、末子年齢ダミーと配偶関係ダミーとの交差項を入れた推定式も使用する。

推定の対象となるサンプルはあくまで非正規就業を行っている女性のみであり、無職女性や正社員女性を含んでいないことを考慮して解釈しなければならない。例えば、既にみ

たように末子が小学校低学年の場合に長時間労働する女性が少ないことに対し、末子が小学校低学年の場合には女性の就業意欲は低下する、と安易に解釈することは不適切である。むしろ、この時期に母親の就業意欲が高まり正規従業員として就業し始める女性が多いとすれば、そうした女性は今回の推定の対象とはなっていないだけであり、その解釈は妥当なものとはいえない。

推定結果は表 13 に示してある。週 35 時間以上勤務ダミーを推定式に加えるかどうかで、年齢や学歴に関する変数の結果が多少異なる。まず、週 35 時間以上勤務ダミーを加えない推定式を解釈すると、50 歳代でフルタイム正規従業員への希望は低下する傾向があり、また大学卒以上の高学歴の場合にはフルタイム正規従業員を希望する傾向にある（40 歳代に限定したケースを除く）。営業・販売職では有意に負の効果を示しており、営業・販売職に就いている人では現在の雇用形態に不満を抱く人が少ない傾向にある。次に、週 35 時間以上勤務ダミーを入れた場合、この変数はいずれの推定式においても有意に正の効果を持つが、年齢や学歴ダミーの結果が非有意になる場合もある。

web 調査回答者ダミーはすべての推定式で有意に負の効果を示しているが、いずれの推定式においても、居住形態ダミー、前職正規従業員ダミーは有意ではない点が男性の結果と異なっている。

女性の就業行動を分析する上でもっとも重要となるのは家族構成に関する変数である。まず、推定式（1）（2）では、末子年齢の差による違いを分析しており、その結果、末子が小学校低学年である場合にフルタイム正社員への希望が最も少なくなる傾向を示している。また、未婚者に比べて有配偶者でフルタイム正規従業員への希望が約 25%少ない傾向があるが、結婚経験のある無配偶者については未婚者との間に有意な差はない。さらに、末子年齢の効果を配偶者の有無別で見た推定式（3）（4）から、無配偶者間では子どもの有無による違いはないことがわかる。言い換えれば、無配偶者の場合、たとえ子どもがいたとしても子どもがいない人と同じ確率でフルタイム正規従業員への転職を希望しているということである。

さらに、有配偶者では末子が小学校低学年の場合に転職希望が低くなることに関しては 2 つの可能性が考えられる。1 つの可能性は、末子が未就学児の時点ですでに非正規就業している人は末子が小学校に入学したところから正規就業へ移行するというものである。末子がまだ幼い状況では母親の年齢も比較的若いと考えられ、正規従業員の職を得る確率も比較的高いと考えられる。それゆえ、小学校低学年の子どもがいて非正規就業をしている人の中には、今まで就業しておらず⁸就業意識もそれほど高くない女性が多いためにこのような結果になった可能性があるが、使用データがパネル・データでないため確認することはできない⁹。

⁸ 駿河・西本（2001）は、もっとも再就業に踏み切りやすいのは末子が小学校低学年になったときであると報告している。

⁹ 本稿で使用したデータに勤続年数はあるものの、末子年齢が正確にはわからないため確認することはできない。

もう1つの可能性は、小学校低学年の頃が子育てと仕事の両立が最も困難な時期であり、比較的両立させやすい非正規就業を選択しているというものである。保育園はもちろん、最近では幼稚園でも預かり保育が充実してきたため未就学の時には就業しやすかったものの、学童保育の整備の遅れ等により長時間勤務では子育てと両立させにくい環境にあるためフルタイム正規従業員への転職希望が減っている、という可能性である。その後、子どもが大きくなるにつれ仕事と家庭の両立が容易になりフルタイム正規従業員としての働き方への希望が増加すると考えれば、推計結果が末子小学校低学年の時に限界効果が特に小さいことへの説明がつく。ただし、どちらの可能性が妥当かについては本稿のデータからは明らかにはできない。

5. おわりに

非正規雇用者の就業形態の選択はどのような理由によるものなのか。非正規雇用者は現在の雇用形態に納得しているのか。本稿ではこうした視点から分析を行い、以下の結果を得た。

まず、有配偶女性を除くと、非正規就業の選択は不本意である場合が多いといえる。50歳以下の場合、有配偶女性以外では正社員になりたいという意見が6割を超える。若い人ほど正社員を希望し、特に20歳代の男性ではフルタイム正規就業を希望する人は約8割に上る。正社員を希望する理由として、男女ともに雇用の不安定性や収入面での不満を挙げる人が多い。

雇用形態別では、派遣社員は不本意であることが多く、一方、パート労働者は比較的満足している人がいるものの、それでも有配偶女性を除くと正社員希望者が最も多くなっている。すなわち、有配偶女性のパート労働者以外の人は、非正規雇用を「就業の多様化」として前向きには捉えていないのが現実である。

次に、婚姻状態による就業行動・就業意識の差における最大の特徴は、男性は有配偶者の方が正規就業を希望しており、逆に女性は無配偶者の方が正規就業を希望しているという点である。特に無配偶女性については、正規就業を希望する理由として、未婚女性は雇用の安定性、離死別経験のある女性はよりよい収入を挙げている。

さらに、子どもを持つ母親の就業行動・意識の配偶関係による違いとして、母子家庭の母親は子どもがいたとしても就業行動を抑制しない傾向が見られた。有配偶女性については、子どもがいる場合に勤務時間を抑制する傾向にある。しかし、母子家庭の母親は子どもがいたとしても長時間勤務しており、かつ、正規就業への転職を希望している人が多い。

そのほか、本稿のデータから明らかになったこととして次の4点を挙げたい。第1に、年齢に関して男女に共通しているのは、50歳以上の就業行動は若者のそれとはかなり性質が異なること、20歳代では正規従業員の職がみつかるまでの「つなぎ」として捉えている人もいること、等が挙げられる。第2に、男性の若年非正規雇用者のうち、有配偶者では

扶養すべき子や家族がいる人も多い。第3に、有配偶女性で子供がいる場合、末子が小学校低学年の人でフルタイム正規従業員の職への希望者が少ない。第4に、転職希望者のうち男女ともに約3割の人が転職理由として、「能力向上が賃金に反映されない」と回答している。この回答は勤続年数と関係があり、男性では勤続年齢が長い人ほど多く、女性では勤続年数が3-10年の人が多いという特徴がある。

最後に今後の課題について述べたい。今まであまり分析されてこなかった若年男性非正規雇用者や、離死別経験者をも含めた婚姻履歴による違いに焦点を当てたものの、非正規雇用者のみを分析対象にしたことで解明できてない点も残されている。無職の人や正規雇用者、自営業者等を含めてより深い分析を行う必要がある。また、家族形態による社会保障のバイアス（永瀬・村尾；2005）等も考慮にいたった分析も重要であろう。

参考文献

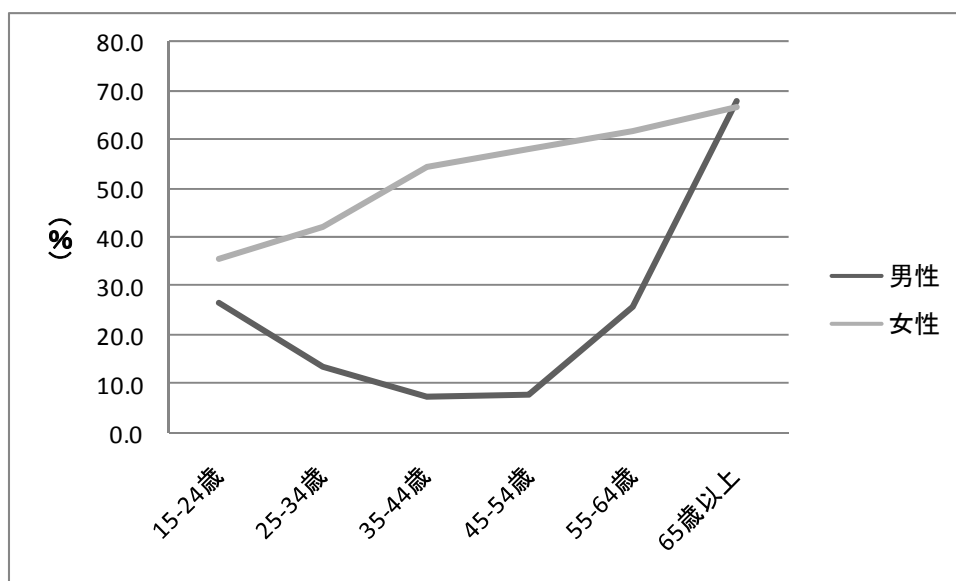
- 奥津眞里（2009）「主婦の再就職と働き方の選択—結婚・育児等によるリタイアと職業復帰」『日本労働研究雑誌』No.586、pp.68-77。
- 奥西好夫（2008）「正社員および非正社員の賃金と仕事に関する意識」『日本労働研究雑誌』No.576、pp.54-69。
- 玄田有史（2008）「前職が非正社員だった離職者の正社員への移行について」『日本労働研究雑誌』No.580、pp.61-77。
- （財）兵庫勤労福祉センター（2008）『「働き方の多様化と生活意識」に関するアンケート調査：雇用形態別・性別集計』10月。
- （財）兵庫勤労福祉センター編（2009）『「働き方の多様化と生活意識」に関するアンケート分析報告書』3月。
- 酒井正・樋口美雄（2005）「フリーターのその後—就業・所得・結婚・出産—」『日本労働研究雑誌』No.535。
- 駿河輝和・西本真弓（2001）「既婚女性の再就業に関する実証分析」『季刊家計経済研究』第50号、pp.58-62。
- 永瀬伸子・村尾祐美子（2005）「社会保障や税制等は家族・家族形成に影響を与えるか—日本の社会的保護の仕組みが持つ特定タイプの家族へのバイアス」『季刊社会保障研究』Vol.41、No.2、pp.137-149。
- 永瀬伸子（2004）「非正規雇用者に対する社会的保護の現状と課題」『季刊社会保障研究』Vol.40、No.2、pp.116-126。
- 永瀬伸子（2002）「子供を持ってない・持たない社会への疑問—仕事と家庭の両立政策の現状と効果」『都市問題研究』Vol.54、No.3、pp.87-99。
- 篠崎武久・石原真三子・塩川崇年・玄田有史「パートが正社員との賃金格差に納得しない

理由は何か」『日本労働研究雑誌』 No.512,pp.58-73.

武石恵美子（2006）「非正規雇用の拡大と女性のキャリア」『雇用システムと女性のキャリア』勁草書房。

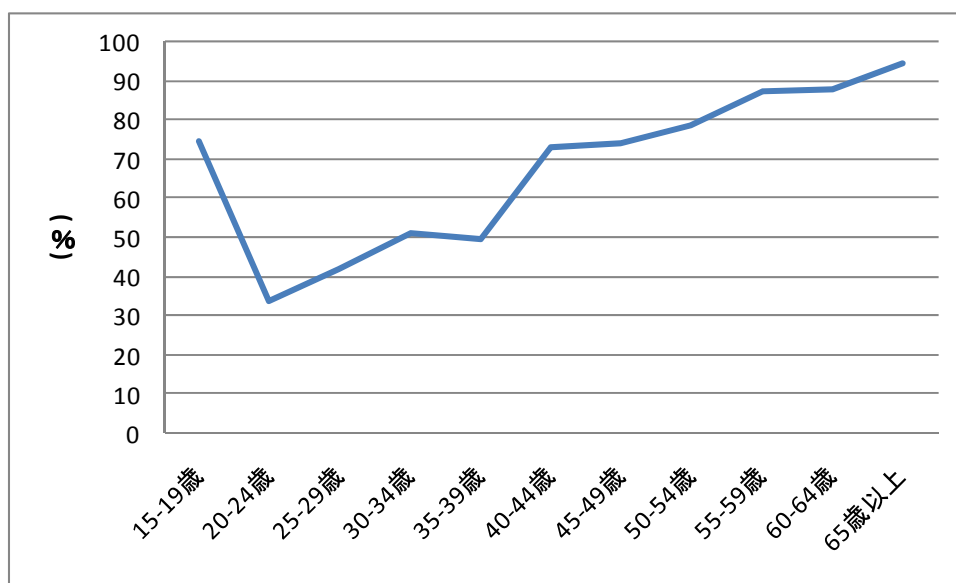
濱本知寿香（2005）「母子世帯の生活状況とその施策」『季刊社会保障研究』Vol.41、 No.2、 pp.96-110。

図1 非正規雇用者の割合（平成19年）



総務省『労働力調査』（平成19年）から作成。

図2 現在の就業形態を続けたいとする労働者割合（正社員以外）



厚生労働省『就業形態の多様化に関する総合実態調査』（平成19年）より作成。

（注）正社員以外で「現在の会社」または「別の会社」で働き続けたい労働者のうち、現在の就業形態を続けたいとする労働者の割合。

表1 男性非正規雇用者データの特徴

	全体	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	40歳未満 有配偶	40歳以上 有配偶	20歳代 無配偶	30歳代 無配偶	40歳以上 無配偶
派遣社員	0.370	0.415	0.359	0.400	0.229	0.464	0.262	0.397	0.315	0.404
契約社員	0.370	0.303	0.430	0.415	0.333	0.449	0.443	0.302	0.393	0.308
パート	0.176	0.162	0.162	0.138	0.313	0.029	0.180	0.175	0.247	0.250
臨時・日雇い社員	0.025	0.056	0.007	0.000	0.021	0.014	0.000	0.056	0.011	0.019
年齢	34.9	25.2	34.2	43.6	54.2	32.7	49.1	25.1	33.9	46.9
中学卒	0.053	0.049	0.056	0.046	0.063	0.072	0.066	0.040	0.056	0.038
高校卒	0.476	0.458	0.458	0.508	0.542	0.507	0.541	0.429	0.461	0.500
短大・高専・専門学校卒	0.128	0.120	0.127	0.200	0.063	0.072	0.131	0.135	0.146	0.154
大学・大学院卒	0.340	0.373	0.359	0.231	0.333	0.348	0.246	0.397	0.337	0.308
有配偶者	0.327	0.113	0.373	0.492	0.604	1.000	1.000	0.000	0.000	0.000
無配偶(結婚経験あり)	0.065	0.007	0.042	0.169	0.167	0.000	0.000	0.008	0.067	0.365
無配偶者(未婚)	0.607	0.880	0.585	0.338	0.229	0.000	0.000	0.992	0.933	0.635
専門・技術職	0.169	0.155	0.190	0.200	0.104	0.261	0.213	0.151	0.135	0.096
技能・生産職	0.353	0.415	0.359	0.323	0.188	0.377	0.262	0.405	0.371	0.269
持ち家(住宅ローン支払い中)	0.181	0.099	0.225	0.246	0.208	0.304	0.328	0.087	0.157	0.115
持ち家(住宅ローンなし・ 支払い済み)	0.131	0.085	0.077	0.200	0.333	0.072	0.246	0.095	0.067	0.269
親・親族の家	0.239	0.352	0.239	0.108	0.083	0.029	0.066	0.389	0.371	0.135
中学生以下の子どもと同居	0.169	0.063	0.254	0.246	0.125	0.652	0.328	0.000	0.000	0.038
前職正社員	0.423	0.254	0.479	0.523	0.625	0.478	0.623	0.222	0.483	0.500
web調査回答者	0.237	0.113	0.282	0.277	0.417	0.116	0.328	0.127	0.360	0.346
妻:正社員						0.159	0.213			
妻:非正社員						0.304	0.410			
妻:無職						0.464	0.344			
N	397	142	142	65	48	69	61	126	89	52

表2 非正規従業員として働く理由(複数回答):男性

	全体	40歳未満 有配偶	40歳以上 有配偶	30歳未満 無配偶	30歳代 無配偶	40歳以上 無配偶	派遣社員	契約社員	パート
働きたい業務内容選べるから	0.144	0.174	0.016	0.190	0.180	0.077	0.184	0.150	0.057
仕事の範囲・責任明確だから	0.121	0.101	0.098	0.135	0.135	0.115	0.095	0.163	0.129
責任軽いから	0.116	0.043	0.115	0.095	0.180	0.154	0.109	0.061	0.229
勤務時間短いから	0.091	0.043	0.115	0.048	0.135	0.154	0.041	0.068	0.243
希望の勤務時間で働けるから	0.118	0.000	0.148	0.127	0.169	0.135	0.075	0.068	0.329
働く期間を限って働けるから	0.048	0.014	0.066	0.048	0.067	0.038	0.014	0.061	0.100
組織にしばられないから	0.111	0.029	0.164	0.063	0.157	0.192	0.088	0.075	0.257
転勤ない・少ないから	0.118	0.072	0.180	0.119	0.124	0.096	0.122	0.122	0.129
専門的スキルを生かせるから	0.146	0.188	0.230	0.151	0.101	0.058	0.170	0.156	0.043
通勤容易だから	0.179	0.101	0.246	0.167	0.236	0.135	0.177	0.170	0.214
正社員なれなかったから	0.360	0.348	0.344	0.357	0.292	0.519	0.381	0.408	0.229
正社員の職までのつなぎとして	0.209	0.130	0.131	0.302	0.191	0.212	0.279	0.102	0.314
その他	0.093	0.159	0.082	0.048	0.135	0.058	0.082	0.129	0.029
週35時間以上勤務	0.844	0.899	0.836	0.841	0.843	0.788	0.952	0.918	0.486
週40時間以上勤務	0.720	0.797	0.656	0.714	0.753	0.654	0.823	0.830	0.300
N	397	69	61	126	89	52	147	147	70

表3 今後の希望：男性

	全体	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代
フルタイム 正規従業員	275 (69.3)	112 (78.9)	102 (71.8)	40 (61.5)	21 (43.8)
短時間 正規従業員	19 (4.8)	6 (4.2)	7 (4.9)	2 (3.1)	4 (8.3)
このまま 非正規従業員	42 (10.6)	9 (6.3)	9 (6.3)	8 (12.3)	16 (33.3)
独立・起業	30 (7.6)	5 (3.5)	13 (9.2)	10 (15.4)	2 (4.2)
退職	9 (2.3)	2 (1.4)	2 (1.4)	4 (6.2)	1 (2.1)
その他	9 (2.3)	1 (0.7)	5 (3.5)	1 (1.5)	2 (4.2)
不明	13 (3.3)	7 (4.9)	4 (2.8)	0 (0.0)	2 (4.2)
合計（人） （％）	397 (100.0)	142 (100.0)	142 (100.0)	65 (100.0)	48 (100.0)

	40歳未満 有配偶	40歳以上 有配偶	30歳未満 無配偶	30歳代 無配偶	40歳以上 無配偶	派遣	契約	パート
フルタイム 正規従業員	58 (84.1)	34 (55.7)	99 (78.6)	57 (64.0)	27 (51.9)	107 (73.0)	118 (80.3)	29 (41.4)
短時間 正規従業員	1 (1.5)	3 (4.9)	6 (4.8)	6 (6.7)	3 (5.8)	3 (2.0)	6 (4.1)	10 (14.3)
このまま 非正規従業員	1 (1.5)	18 (29.5)	9 (7.1)	8 (9.0)	6 (11.5)	12 (8.2)	13 (8.8)	14 (20.0)
独立・起業	1 (1.5)	1 (1.6)	5 (4.0)	12 (13.5)	11 (21.2)	13 (8.8)	3 (2.0)	12 (17.1)
退職	2 (2.9)	2 (3.3)	1 (0.8)	1 (1.1)	3 (5.8)	1 (0.7)	5 (3.4)	3 (4.3)
その他	2 (2.9)	1 (1.6)	1 (0.8)	3 (3.4)	2 (3.9)	5 (3.4)	1 (0.7)	2 (2.9)
不明	4 (5.8)	2 (3.3)	5 (4.0)	2 (2.3)	0 (0.0)	6 (4.1)	1 (0.7)	0 (0.0)
合計（人） （％）	69 (100.0)	61 (100.0)	126 (100.0)	89 (100.0)	52 (100.0)	147 (100.0)	147 (100.0)	70 (100.0)

表4 転職希望理由：男性

	全体	30歳未満	30歳代	40歳代	40歳以上 (1部再掲)	派遣	契約	パート
能力向上が賃金に反映しないから	0.364	0.322	0.376	0.381	0.418	0.382	0.339	0.359
雇用不安定が不安定だから	0.656	0.636	0.679	0.762	0.657	0.700	0.669	0.538
社会保険に加入できないから	0.071	0.076	0.073	0.024	0.060	0.064	0.040	0.231
教育訓練の機会乏しいから	0.054	0.068	0.046	0.071	0.045	0.082	0.032	0.051
役職につけないから	0.078	0.102	0.073	0.048	0.045	0.073	0.097	0.077
もっと責任が重い仕事につきたいから	0.092	0.127	0.073	0.071	0.060	0.109	0.089	0.077
もっと収入が必要だから	0.629	0.551	0.661	0.714	0.716	0.618	0.677	0.615
配置転換や異動したいから	0.071	0.102	0.064	0.024	0.030	0.100	0.056	0.051
専門的資格・技能を活かしたいから	0.133	0.127	0.165	0.095	0.090	0.109	0.153	0.026
その他	0.020	0.017	0.028	0.000	0.015	0.045	0.000	0.026
N	294	118	109	42	67	110	124	39

表5 「能力向上が賃金に反映しないから」と回答した人の割合：男性

勤続年数	人数	「能力向上が賃金反映なし」	
		人数	(%)
1年未満	65	18	(27.7)
1-2年未満	75	24	(32.0)
2-3年未満	43	15	(34.9)
3-5年未満	63	28	(44.4)
5-15年未満	41	18	(43.9)
15年以上	5	4	
全体	294	107	(36.4)

(注) 正規従業員（短時間含む）への転職希望者のうち「能力向上が賃金に反映しないから」を選択した人の割合。

表6 プロビット分析結果（被説明変数：フルタイム正規従業員になりたい）：男性

(ダミー変数)	限界効果	限界効果	限界効果	限界効果
30歳未満	0.3928 ***	0.3936 ***	0.3666 ***	0.3839 ***
30歳代	0.2944 ***	0.2998 ***	0.2876 ***	0.2881 ***
40歳代	0.1494 **	0.1545 **	0.1435 *	0.1447 **
中学卒	-0.1108	-0.1084	-0.1039	-0.1068
短大等	-0.0037	-0.0176	-0.0107	-0.0073
大学卒以上	0.1028 *	0.1019 *	0.1048 *	0.1047 *
有配偶	0.1860 ***	0.1840 ***	0.1902 ***	0.1724 ***
無配偶(結婚経験あり)	0.1186	0.1205	0.1152	0.1140
専門・技術職	-0.2192 ***	-0.1877 **	-0.1905 **	-0.1936 **
技能・生産職	0.0419	0.0575	0.0576	0.0576
持ち家(ローンあり)	-0.0028	-0.0056	-0.0009	
持ち家(ローンなし)	0.0853	0.0805	0.0832	
親・親族の家	0.0798	0.0675	0.0739	
前職正社員	0.0819	0.0889 *		0.0915 *
web調査回答者	-0.1119 *	-0.1482 **	-0.1616 ***	-0.1532 ***
週35時間以上勤務	0.1415 *			
サンプルサイズ	380	380	380	383
Pseudo R2	0.147	0.1389	0.132	0.1344
Log likelihood	-194.3	-196.1	-197.7	-198.0

50歳未満

(ダミー変数)	限界効果	限界効果	限界効果	限界効果
30歳未満	0.2394 ***	0.2348 ***	0.2251 ***	0.2272 ***
30歳代	0.1488 **	0.1492 **	0.1493 **	0.1377 **
中学卒	-0.1426	-0.1440	-0.1436	-0.1544
短大等	-0.0177	-0.0380	-0.0347	-0.0398
大学卒以上	0.0762	0.0723	0.0731	0.0688
有配偶	0.1716 ***	0.1721 ***	0.1760 ***	0.1598 ***
無配偶(結婚経験あり)	0.0326	0.0415	0.0371	0.0520
専門・技術職	-0.2215 ***	-0.1901 **	-0.1909 **	-0.1987 ***
技能・生産職	0.0507	0.0667	0.0667	0.0635
持ち家(ローンあり)	-0.0260	-0.0269	-0.0237	
持ち家(ローンなし)	0.1755 **	0.1709 **	0.1726 **	
親・親族の家	0.0626	0.0512	0.0560	
前職正社員	0.0336	0.0419		0.0477
web調査回答者	-0.1918 ***	-0.2383 ***	-0.2458 ***	-0.2445 ***
週35時間以上勤務	0.1538 *			
サンプルサイズ	334	334	334	337
Pseudo R2	0.1685	0.159	0.1572	0.1386
Log likelihood	-156.6	-158.4	-158.8	-163.0

40歳未満

(ダミー変数)	限界効果	限界効果	限界効果	限界効果
30歳未満	0.0930 *	0.0878	0.0709	0.0936 *
中学卒	-0.2144	-0.2084	-0.2015	-0.1894
短大等	-0.0249	-0.0389	-0.0357	-0.0354
大学卒以上	0.0596	0.0587	0.0605	0.0547
有配偶	0.1687 ***	0.1662 ***	0.1688 ***	0.1575 ***
無配偶(結婚経験あり)	0.0421	0.0447	0.0438	0.0262
専門・技術職	-0.2223 **	-0.1990 **	-0.1974 **	-0.1924 **
技能・生産職	0.0314	0.0447	0.0458	0.0357
持ち家(ローンあり)	-0.0588	-0.0661	-0.0554	
持ち家(ローンなし)	0.1459 *	0.1451 *	0.1488 *	
親・親族の家	0.0649	0.0583	0.0676	
前職正社員	0.0541	0.0586		0.0619
web調査回答者	-0.2423 ***	-0.2743 ***	-0.2905 ***	-0.2841 ***
週35時間以上勤務	0.0854			
サンプルサイズ	271	271	271	273
Pseudo R2	0.1792	0.1755	0.1713	0.1525
Log likelihood	-116.6	-117.1	-117.7	-120.8

(注) ダミー変数の限界効果は0から1へ変化した場合の効果を示す。

*, **, ***はそれぞれ10、5、1%水準で有意であることを示す。

表7 女性非正規雇用者データの特徴（次ページに続きあり）

	全体	40歳未満 有配偶	40歳代 有配偶	50歳代 有配偶	30歳未満 無配偶	30歳代 無配偶	40歳代 無配偶	50歳代 無配偶
派遣社員	0.245	0.278	0.133	0.034	0.471	0.530	0.280	0.066
契約社員	0.179	0.206	0.150	0.149	0.228	0.232	0.140	0.131
パート	0.401	0.483	0.550	0.443	0.228	0.185	0.441	0.328
臨時・日雇い社員	0.131	0.033	0.129	0.268	0.044	0.036	0.108	0.393
その他	0.030	0.000	0.029	0.064	0.029	0.012	0.022	0.049
週35時間以上勤務	0.509	0.444	0.371	0.285	0.831	0.774	0.656	0.426
週40時間以上勤務	0.299	0.256	0.204	0.149	0.581	0.452	0.398	0.180
事務職	0.356	0.500	0.304	0.157	0.441	0.560	0.333	0.180
営業・販売職	0.158	0.072	0.188	0.247	0.088	0.083	0.194	0.262
技能・生産職	0.118	0.106	0.125	0.115	0.140	0.113	0.118	0.098
前職正社員	0.290	0.333	0.271	0.272	0.265	0.280	0.290	0.393
年齢	41.79	34.18	44.95	54.77	25.59	34.55	44.09	54.38
有配偶者	0.588	1.000	1.000	1.000	0.000	0.000	0.000	0.000
無配偶者（結婚経験あり）	0.113	0.000	0.000	0.000	0.015	0.202	0.473	0.754
無配偶者（未婚）	0.298	0.000	0.000	0.000	0.985	0.798	0.527	0.246
中学卒	0.026	0.017	0.013	0.021	0.029	0.018	0.032	0.131
高校卒	0.473	0.389	0.513	0.681	0.235	0.351	0.505	0.574
短大・高専・専門学校卒	0.329	0.322	0.346	0.234	0.397	0.435	0.323	0.213
大学・大学院卒	0.171	0.272	0.121	0.064	0.338	0.196	0.140	0.082
持ち家（住宅ローン支払い中）	0.368	0.539	0.617	0.426	0.132	0.107	0.140	0.262
持ち家（住宅ローンなし・ 支払い済み）	0.220	0.072	0.192	0.451	0.154	0.155	0.151	0.311
親・親族の家	0.160	0.056	0.050	0.009	0.456	0.369	0.258	0.098
末子未就学児	0.060	0.317	0.025	0.000	0.007	0.012	0.011	0.000
末子小学校低学年	0.050	0.172	0.046	0.000	0.007	0.060	0.032	0.000
末子小学校高学年	0.045	0.100	0.083	0.009	0.000	0.048	0.022	0.000
末子中学生	0.045	0.028	0.125	0.021	0.000	0.006	0.086	0.016
末子高校生以上	0.294	0.039	0.538	0.604	0.000	0.006	0.258	0.393
web調査回答者	0.262	0.450	0.275	0.106	0.294	0.292	0.269	0.098
夫：正社員		0.811	0.763	0.672				
夫：非正規社員		0.094	0.054	0.115				
夫：自営業		0.050	0.125	0.085				
夫：無職		0.011	0.021	0.072				
N	1113	180	240	235	136	168	93	61

表7 女性非正規雇用者データの特徴（続き）

	40歳未満	40歳代	50歳代	50歳未満			50歳未満		
	無配偶 離死別	無配偶 離死別	無配偶 離死別	中学生以下 有配偶	子どもあり 有配偶	子どもなし 有配偶	中学生以下 無配偶	子どもあり 無配偶	子どもなし 無配偶
派遣社員	0.389	0.273	0.065	0.184	0.133	0.427	0.421	0.338	0.475
契約社員	0.250	0.091	0.109	0.162	0.176	0.169	0.105	0.108	0.227
パート	0.306	0.477	0.326	0.584	0.576	0.315	0.395	0.431	0.227
臨時・日雇い社員	0.056	0.136	0.413	0.054	0.094	0.067	0.079	0.108	0.043
その他	0.000	0.023	0.043	0.016	0.015	0.022	0.000	0.015	0.021
週35時間以上勤務	0.667	0.614	0.370	0.368	0.355	0.584	0.605	0.600	0.801
週40時間以上勤務	0.361	0.318	0.174	0.195	0.188	0.371	0.289	0.277	0.525
事務職	0.500	0.273	0.174	0.395	0.336	0.584	0.500	0.354	0.485
営業・販売職	0.139	0.273	0.174	0.119	0.142	0.124	0.211	0.231	0.086
技能・生産職	0.111	0.091	0.109	0.119	0.124	0.090	0.079	0.108	0.129
前職正社員	0.278	0.227	0.391	0.254	0.282	0.360	0.237	0.231	0.285
年齢	34.86	45.09	54.37	39.07	41.65	35.43	38.11	40.94	32.23
有配偶者	0.000	0.000	0.000	1.000	1.000	1.000	0.000	0.000	0.000
無配偶者(結婚経験あり)	1.000	1.000	1.000	0.000	0.000	0.000	0.947	0.954	0.055
無配偶者(未婚)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.053	0.046	0.945
中学卒	0.083	0.023	0.152	0.016	0.018	0.000	0.053	0.046	0.021
高校卒	0.389	0.591	0.609	0.432	0.479	0.393	0.632	0.585	0.301
短大・高専・専門学校卒	0.389	0.295	0.174	0.389	0.358	0.258	0.237	0.292	0.420
大学・大学院卒	0.139	0.091	0.065	0.162	0.139	0.348	0.079	0.077	0.258
持ち家(住宅ローン支払い中)	0.139	0.114	0.304	0.627	0.642	0.360	0.158	0.154	0.120
持ち家(住宅ローンなし・ 支払い済み)	0.111	0.205	0.283	0.108	0.158	0.079	0.132	0.169	0.150
親・親族の家	0.278	0.205	0.065	0.076	0.052	0.056	0.132	0.169	0.408
末子未就学児	0.083	0.023	0.000	0.341	0.191	0.000	0.105	0.062	0.000
末子小学校低学年	0.278	0.068	0.000	0.227	0.127	0.000	0.368	0.215	0.000
末子小学校高学年	0.194	0.045	0.000	0.216	0.115	0.000	0.263	0.154	0.000
末子中学生	0.028	0.182	0.022	0.216	0.106	0.000	0.263	0.138	0.000
末子高校生以上	0.028	0.545	0.522	0.000	0.409	0.000	0.000	0.385	0.000
web調査回答者	0.333	0.273	0.087	0.432	0.355	0.337	0.263	0.262	0.298
週35時間以上勤務	0.667	0.614	0.370	0.368	0.355	0.584	0.605	0.600	0.801
週40時間以上勤務	0.361	0.318	0.174	0.195	0.188	0.371	0.289	0.277	0.525
労働時間数 (労働時間:人数)				26.18 (182)	26.93 (323)	31.95 (88)	33.46 (37)	32.81 (62)	37.04 (315)
N	36	44	46	185	330	89	38	65	326

(注) 労働時間数は週70時間以上と回答した人を除いて計算した。

表8 末子年齢と勤務時間：女性

	人数	週40時間以上勤務 (%)	週35時間以上勤務 (%)
有配偶			
未就学児	63	12 (0.190)	28 (0.444)
小学校低学年	42	4 (0.095)	7 (0.167)
小学校高学年	40	12 (0.300)	18 (0.450)
中学生	40	8 (0.200)	15 (0.375)
高校生以上	278	52 (0.187)	92 (0.331)
子供あり	463	88 (0.190)	160 (0.346)
無配偶			
中学生以下	38	11 (0.289)	23 (0.605)
高校生以上	49	9 (0.184)	22 (0.449)
子供あり	87	20 (0.230)	45 (0.517)

表9 非正規従業員として働く理由（複数回答）：女性

	全体	40歳未満 有配偶	40歳代 有配偶	50歳代 有配偶	30歳未満 無配偶	30歳代 無配偶	40歳代 無配偶	50歳代 無配偶
働きたい業務内容選べるから	0.119	0.144	0.083	0.030	0.221	0.250	0.065	0.033
仕事の範囲・責任明確だから	0.131	0.133	0.121	0.128	0.140	0.185	0.097	0.066
責任軽いから	0.126	0.200	0.050	0.094	0.191	0.179	0.118	0.049
勤務時間短いから	0.284	0.372	0.363	0.421	0.140	0.083	0.183	0.213
希望の勤務時間で働けるから	0.281	0.478	0.371	0.264	0.199	0.161	0.172	0.098
働く期間を限って働けるから	0.080	0.128	0.092	0.047	0.125	0.042	0.075	0.033
組織にしばられないから	0.085	0.078	0.050	0.047	0.125	0.179	0.097	0.033
転職ない・少ないから	0.092	0.056	0.108	0.055	0.088	0.131	0.118	0.131
専門的スキルを生かせるから	0.092	0.083	0.121	0.064	0.125	0.113	0.065	0.016
通勤容易だから	0.291	0.256	0.346	0.357	0.228	0.250	0.247	0.246
正社員なれなかったから	0.277	0.161	0.229	0.226	0.279	0.440	0.462	0.262
正社員の職までのつなぎとして	0.092	0.067	0.025	0.009	0.257	0.208	0.108	0.033
その他	0.080	0.078	0.088	0.038	0.110	0.071	0.108	0.131
N	1113	180	240	235	136	168	93	61

	中学生以下 有配偶	50歳未満 子どもあり 有配偶	50歳未満 子どもなし 有配偶	中学生以下 無配偶	50歳未満 子どもあり 無配偶	50歳未満 子どもなし 無配偶	40歳未満 離死別	40歳代 離死別	50歳代 離死別
働きたい業務内容選べるから	0.103	0.082	0.213	0.105	0.077	0.218	0.194	0.023	0.022
仕事の範囲・責任明確だから	0.114	0.118	0.157	0.158	0.123	0.156	0.111	0.091	0.065
責任軽いから	0.162	0.112	0.124	0.105	0.123	0.181	0.167	0.114	0.043
勤務時間短いから	0.449	0.397	0.247	0.158	0.200	0.113	0.194	0.250	0.196
希望の勤務時間で働けるから	0.481	0.418	0.416	0.421	0.338	0.144	0.306	0.250	0.109
働く期間を限って働けるから	0.103	0.103	0.124	0.105	0.108	0.074	0.083	0.068	0.043
組織にしばられないから	0.076	0.048	0.112	0.079	0.062	0.160	0.056	0.068	0.022
転職ない・少ないから	0.054	0.076	0.124	0.211	0.154	0.101	0.139	0.114	0.109
専門的スキルを生かせるから	0.081	0.103	0.101	0.079	0.062	0.117	0.083	0.045	0.022
通勤容易だから	0.297	0.324	0.247	0.237	0.262	0.239	0.250	0.250	0.239
正社員なれなかったから	0.178	0.197	0.213	0.395	0.354	0.396	0.389	0.386	0.217
正社員の職までのつなぎとして	0.043	0.030	0.090	0.158	0.108	0.221	0.194	0.068	0.022
その他	0.081	0.085	0.079	0.053	0.077	0.095	0.111	0.091	0.152
N	185	330	89	38	65	326	36	44	46

	派遣 有配偶	契約 有配偶	パート 有配偶	臨時 有配偶	派遣 無配偶	契約 無配偶	パート 無配偶	臨時 無配偶
働きたい業務内容選べるから	0.222	0.065	0.080	0.000	0.268	0.165	0.114	0.022
仕事の範囲・責任明確だから	0.244	0.148	0.090	0.120	0.169	0.132	0.130	0.065
責任軽いから	0.133	0.120	0.136	0.010	0.186	0.165	0.146	0.043
勤務時間短いから	0.178	0.139	0.533	0.410	0.077	0.110	0.211	0.283
希望の勤務時間で働けるから	0.322	0.250	0.520	0.090	0.148	0.121	0.285	0.022
働く期間を限って働けるから	0.122	0.028	0.118	0.040	0.071	0.066	0.106	0.022
組織にしばられないから	0.133	0.056	0.056	0.010	0.202	0.055	0.114	0.043
転職ない・少ないから	0.100	0.074	0.071	0.070	0.093	0.154	0.122	0.087
専門的スキルを生かせるから	0.067	0.176	0.068	0.080	0.093	0.132	0.073	0.087
通勤容易だから	0.222	0.287	0.399	0.260	0.191	0.220	0.374	0.130
正社員なれなかったから	0.233	0.315	0.146	0.240	0.377	0.527	0.333	0.196
正社員の職までのつなぎとして	0.122	0.009	0.015	0.030	0.295	0.143	0.098	0.043
その他	0.122	0.056	0.043	0.090	0.077	0.121	0.089	0.152
週35以上勤務	0.744	0.639	0.220	0.340	0.929	0.868	0.537	0.544
週40時間以上勤務	0.411	0.324	0.090	0.190	0.607	0.473	0.228	0.304
週労働時間数 (労働時間数：人数)	33.4 (89)	33.4 (105)	24.4 (318)	30.1 (91)	38.5 (179)	38.0 (86)	31.0 (119)	34.6 (40)
N	90	108	323	100	183	91	123	46

(注) 労働時間数は週70時間以上と回答した人を除いて計算した。

表 10 今後の希望：女性

	全体	40歳未満 有配偶	40歳代 有配偶	50歳代 有配偶	30歳未満 無配偶	30歳代 無配偶	40歳代 無配偶	50歳代 無配偶	40歳未満 離死別	40歳代 離死別	50歳代 離死別
フルタイム正規従業員	0.376	0.333	0.308	0.174	0.551	0.601	0.548	0.262	0.556	0.455	0.261
短時間正規従業員	0.094	0.139	0.125	0.094	0.074	0.048	0.054	0.082	0.194	0.068	0.065
このまま非正規従業員	0.326	0.394	0.417	0.430	0.147	0.190	0.269	0.230	0.139	0.318	0.196
独立・起業	0.032	0.039	0.042	0.009	0.044	0.030	0.043	0.033	0.028	0.091	0.022
退職	0.057	0.022	0.042	0.081	0.074	0.071	0.032	0.082	0.056	0.000	0.087
不明	0.038	0.056	0.025	0.038	0.059	0.042	0.011	0.016	0.028	0.023	0.022
(人)	1113	180	240	235	136	168	93	61	36	44	46

	中学生以下 有配偶	50歳未満 子どもあり 有配偶	50歳未満 子どもなし 有配偶	中学生以下 無配偶	50歳未満 子どもあり 無配偶	50歳未満 子どもなし 無配偶
フルタイム正規従業員	0.308	0.297	0.404	0.474	0.477	0.589
短時間正規従業員	0.124	0.133	0.124	0.132	0.108	0.049
このまま非正規従業員	0.454	0.433	0.315	0.237	0.215	0.187
独立・起業	0.032	0.030	0.079	0.053	0.077	0.031
退職	0.027	0.036	0.022	0.053	0.031	0.071
不明	0.032	0.033	0.045	0.053	0.046	0.040
(人)	185	330	89	38	65	326

	派遣 有配偶	契約 有配偶	パート 有配偶	臨時 有配偶	派遣 無配偶	契約 無配偶	パート 無配偶	臨時 無配偶
フルタイム正規従業員	0.478	0.333	0.176	0.280	0.639	0.582	0.398	0.370
短時間正規従業員	0.133	0.111	0.121	0.120	0.027	0.077	0.098	0.065
このまま非正規従業員	0.267	0.370	0.539	0.250	0.137	0.209	0.301	0.174
独立・起業	0.044	0.037	0.022	0.040	0.049	0.011	0.049	0.022
退職	0.000	0.065	0.056	0.050	0.071	0.066	0.057	0.087
不明	0.067	0.019	0.034	0.040	0.055	0.011	0.033	0.022
(人)	90	108	323	100	183	91	123	46

表 11 転職希望理由：女性

	全体	40歳未満 有配偶	40歳代 有配偶	50歳代 有配偶	30歳未満 無配偶	30歳代 無配偶	40歳代 無配偶	50歳代 無配偶
能力向上が賃金に反映しないから	0.304	0.271	0.365	0.270	0.224	0.404	0.250	0.234
雇用不安定が不安定だから	0.604	0.459	0.548	0.524	0.588	0.734	0.786	0.740
社会保険に加入できないから	0.067	0.071	0.077	0.048	0.071	0.083	0.054	0.039
教育訓練の機会乏しいから	0.069	0.071	0.087	0.016	0.071	0.073	0.071	0.078
役職につけないから	0.017	0.047	0.000	0.000	0.012	0.028	0.018	0.013
もっと責任が重い仕事につきたいから	0.029	0.047	0.019	0.000	0.024	0.028	0.071	0.052
もっと収入が必要だから	0.627	0.565	0.663	0.540	0.576	0.679	0.696	0.701
配置転換や異動したいから	0.027	0.035	0.000	0.016	0.082	0.028	0.000	0.000
専門的資格・技能を活かしたいから	0.107	0.165	0.115	0.048	0.118	0.101	0.089	0.078
その他	0.052	0.094	0.067	0.048	0.012	0.046	0.054	0.039
N	523	85	104	63	85	109	56	77

	50歳未満 有配偶	50歳未満 離死別	50歳未満 未婚	派遣	契約	パート	臨時
能力向上が賃金に反映しないから	0.323	0.340	0.300	0.362	0.213	0.331	0.233
雇用不安定が不安定だから	0.508	0.580	0.725	0.689	0.667	0.408	0.700
社会保険に加入できないから	0.074	0.100	0.065	0.034	0.019	0.153	0.050
教育訓練の機会乏しいから	0.079	0.020	0.085	0.085	0.046	0.070	0.050
役職につけないから	0.021	0.020	0.020	0.017	0.019	0.019	0.017
もっと責任が重い仕事につきたいから	0.032	0.000	0.045	0.011	0.056	0.032	0.033
もっと収入が必要だから	0.619	0.800	0.610	0.537	0.694	0.701	0.600
配置転換や異動したいから	0.016	0.020	0.045	0.040	0.019	0.025	0.017
専門的資格・技能を活かしたいから	0.138	0.040	0.120	0.102	0.148	0.057	0.133
その他	0.079	0.080	0.025	0.062	0.056	0.038	0.033
N	189	50	200	177	108	157	60

表 12 「能力向上が賃金に反映しないから」と回答した人の割合：女性

勤続年数	人数	「能力向上が賃金反映なし」 人数 (%)	
6か月未満	55	11	20.00
6か月-1年未満	44	14	31.82
1-2年未満	97	28	28.87
2-3年未満	57	16	28.07
3-5年未満	74	30	40.54
5-10年未満	78	31	39.74
10-15年未満	45	14	31.11
15-20年未満	56	11	19.64
20年以上	14	4	
N	523	159	30.4

(注) 正規従業員（短時間含む）への転職希望者のうち「能力向上が賃金に反映しないから」を選択した人の割合。

表 13 プロビット分析結果（被説明変数：フルタイム正規従業員になりたい）：女性

(ダミー変数)	(1) 限界効果	(2) 限界効果	(ダミー変数)	(3) 限界効果	(4) 限界効果
30歳未満	0.1227 *	0.0709	30歳未満	0.1616 ***	0.1034
30歳代	0.1763 ***	0.1425 **	30歳代	0.2055 ***	0.1667 ***
40歳代	0.1563 ***	0.1346 ***	40歳代	0.1696 ***	0.1478 ***
中学卒	-0.1360	-0.1287	中学卒	-0.1365	-0.1335
短大等	-0.0065	-0.0279	短大等	-0.0050	-0.0266
大学卒以上	0.0880 *	0.0598	大学卒以上	0.0892 *	0.0585
有配偶	-0.2431 ***	-0.1871 ***	有配偶×未就学児	-0.1838 ***	-0.1361 **
無配偶(結婚経験あり)	-0.0516	-0.0389	有配偶×低学年	-0.3165 ***	-0.2566 ***
末子未就学児	0.0138	0.0188	有配偶×高学年	-0.1864 **	-0.1581 **
末子小学校低学年	-0.1712 **	-0.1301 *	有×小学生以下なし	-0.2121 ***	-0.1648 ***
末子小学校高学年	0.0252	0.0249	無配偶×低学年以下	-0.1248	-0.1172
末子中学生	0.0393	0.0456	無配偶×高学年	0.0793	0.1555
末子高校生以上	-0.0340	-0.0344	無×小学生以下なし	比較基準	比較基準
持ち家(ローンあり)	0.0335	0.0471	持ち家(ローンあり)	0.0346	0.0488
持ち家(ローンなし)	-0.0518	-0.0393	持ち家(ローンなし)	-0.0510	-0.0379
親・親族の家	0.0006	-0.0017	親・親族の家	0.0091	0.0065
web調査回答者	-0.1254 ***	-0.0707 *	web調査回答者	-0.1240 ***	-0.0688 *
前職正社員	0.0562	0.0562	前職正社員	0.0555	0.0559
事務職	0.0564	-0.0047	事務職	0.0594	-0.0021
営業・販売職	-0.1554 ***	-0.1448 ***	営業・販売職	-0.1570 ***	-0.1474 ***
技能・生産職	0.0284	-0.0413	技能・生産職	0.0293	-0.0406
週35時間勤務		0.2650 ***	週35時間勤務		0.2668 ***
サンプルサイズ	1051	1051	サンプルサイズ	1051	1051
Pseudo R2	0.118	0.159	Pseudo R2	0.117	0.159
Log likelihood	-616.0	-587.3	Log likelihood	-616.6	-587.6

(ダミー変数)	限界効果	限界効果	(ダミー変数)	限界効果	限界効果
30歳未満	-0.0560	-0.0827	30歳未満	-0.0329	-0.0649
30歳代	0.0101	-0.0026	30歳代	0.0280	0.0111
中学卒	-0.0549	-0.0583	中学卒	-0.0430	-0.0516
短大等	0.0014	-0.0150	短大等	0.0009	-0.0159
大学卒以上	0.1240 **	0.0954 *	大学卒以上	0.1265 **	0.0965 *
有配偶	-0.2624 ***	-0.2183 ***	有配偶×未就学児	-0.2228 ***	-0.1802 **
無配偶(結婚経験あり)	-0.0060	-0.0060	有配偶×低学年	-0.3831 ***	-0.3253 ***
末子未就学児	0.0050	0.0121	有×低学年以下なし	-0.2666 ***	-0.2273 ***
末子小学校低学年	-0.2133 **	-0.1680 *	無配偶×低学年以下	-0.1515	-0.1426
末子小学校高学年	-0.0457	-0.0430	無×低学年以下なし	比較基準	比較基準
末子中学生	0.0417	0.0472			
末子高校生以上	-0.0856	-0.0771			
持ち家(ローンあり)	0.0667	0.0874	持ち家(ローンあり)	0.0595	0.0809
持ち家(ローンなし)	-0.0628	-0.0506	持ち家(ローンなし)	-0.0689	-0.0560
親・親族の家	-0.0100	-0.0099	親・親族の家	-0.0082	-0.0093
web調査回答者	-0.1507 ***	-0.0877 **	web調査回答者	-0.1492 ***	-0.0864 **
前職正社員	0.0491	0.0500	前職正社員	0.0496	0.0503
事務職	0.0431	-0.0059	事務職	0.0514	0.0017
営業・販売職	-0.1744 ***	-0.1701 ***	営業・販売職	-0.1745 ***	-0.1704 ***
技能・生産職	0.0111	-0.0415	技能・生産職	0.0137	-0.0392
週35時間勤務		0.2519 ***	週35時間勤務		0.2528 ***
サンプルサイズ	776	776	サンプルサイズ	776	776
Pseudo R2	0.100	0.133	Pseudo R2	0.098	0.131
Log likelihood	-479.6	-462.1	Log likelihood	-480.6	-463.0

40歳代			40歳未満		
	限界効果	限界効果		限界効果	限界効果
年齢	-0.0200 *	-0.0194 *	年齢	0.0072	0.0086
中学卒	0.1070	0.0899	中学卒	-0.1170	-0.1230
短大等	-0.0140	-0.0614	短大等	0.0194	0.0157
大学卒以上	0.1365	0.0919	大学卒以上	0.1276 *	0.1113 *
有配偶×小学生以下	-0.3178 ***	-0.2890 ***	有配偶×小学生以下	-0.2653 ***	-0.2269 ***
有配偶×小学生以下なし	-0.2211 ***	-0.1605 **	有配偶×低学年	-0.4105 ***	-0.3615 ***
無配偶×小学生以下	-0.1529	-0.1954	有×低学年以下なし	-0.2698 ***	-0.2432 ***
無配偶×小学生以下なし	比較基準	比較基準	無配偶×低学年以下	-0.1545	-0.1344
			無×低学年以下なし		
持ち家(ローンあり)	0.0185	0.0633	持ち家(ローンあり)	0.0867	0.0985
持ち家(ローンなし)	-0.0427	-0.0216	持ち家(ローンなし)	-0.0835	-0.0718
親・親族の家	-0.0184	-0.0201	親・親族の家	-0.0137	-0.0111
web調査回答者	-0.1396 *	-0.0342	web調査回答者	-0.1433 ***	-0.1030 *
前職正社員	0.0804	0.0883	前職正社員	0.0246	0.0212
事務職	0.0725	-0.0402	事務職	0.0307	0.0103
営業・販売職	-0.1517 *	-0.1837 **	営業・販売職	-0.1768 *	-0.1532
技能・生産職	0.0050	-0.1091	技能・生産職	-0.0028	-0.0234
週35時間勤務		0.3657 ***	週35時間勤務		0.1839 ***
サンプルサイズ	300	300	サンプルサイズ	476	476
Pseudo R2	0.110	0.192	Pseudo R2	0.085	0.101
Log likelihood	-176.4	-160.2	Log likelihood	-301.6	-296.6

(注) ダミー変数の限界効果は0から1へ変化した場合の効果を示す。

*, **, ***はそれぞれ10、5、1%水準で有意であることを示す。